

宮津地域および南丹地域の集客施設で入り込み客数が増加

【開通による効果】

- ・宮津市・舞鶴市～京丹波町の所要時間が**約15分短縮**
- ・供用済の宮津天橋立IC～舞鶴大江IC間の利用台数が約1割増加
- ・宮津地域及び南丹地域の沿道集客施設の入り込み客数が**約1～2割増加**
- ・道の駅『和』の売上げが**約2割増加**

位置図



道の駅「和」盛況

京丹波町の道の駅「和」の売り上げが、昨秋から大幅に伸びて、約15%増の約1億1千四百七十万円となった。昨年九月に道の駅近くまで開通した京都縦貫自動車道の効果とみられ、関係者は活況を喜び、ターゲットに予定される全開通が実現すれば、一転して素

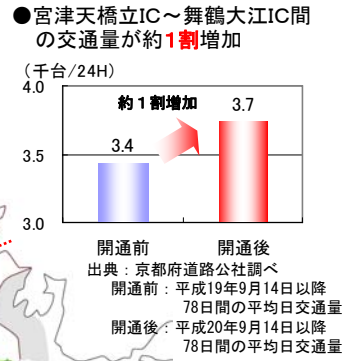
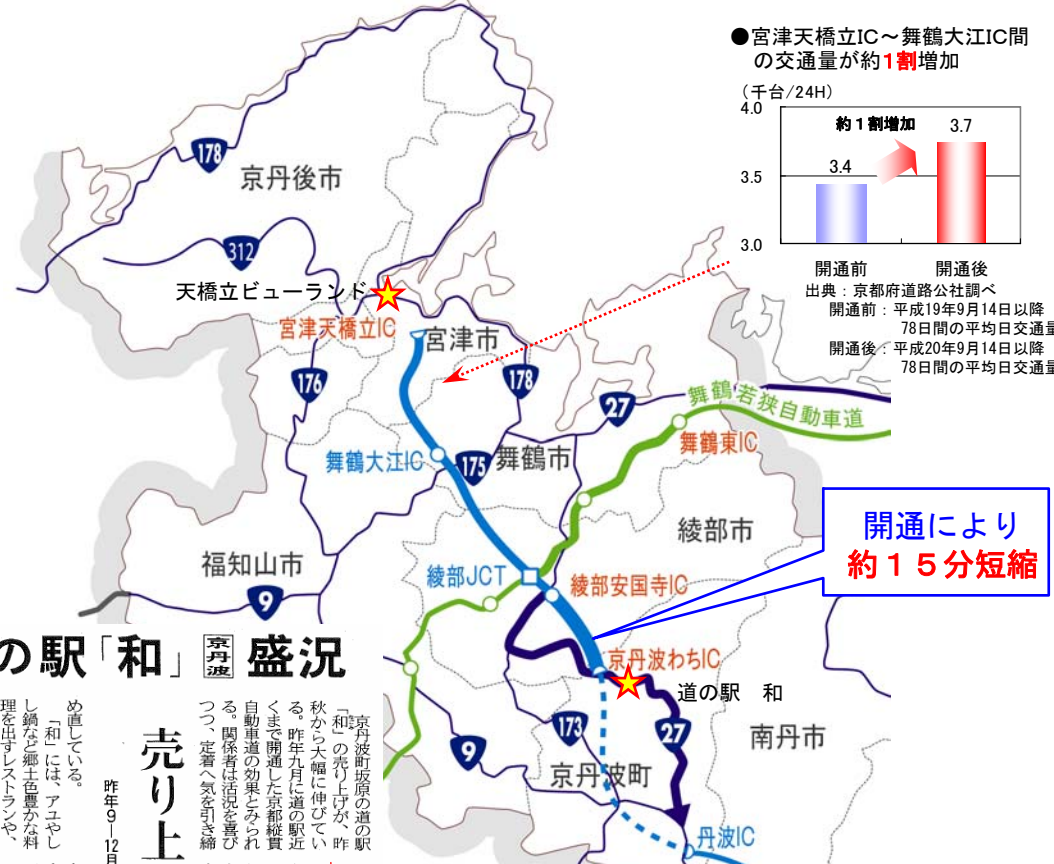
昨年9～12月、京都縦貫道開通効果か**売り上げ前年比15%増**

め直している。七ヶ開通。同区間では、通りの懸念が浮上る。十一月までの一日平均で二千三百台の利用が、まだが勝負。和知の産品理を出すレストランや、た。和を運営するをアピールし、買いに来黒豆など地元産品や土産、山口信夫理事長は「国道ド力をつけた」と力を。昨年九～十二月の集客数が前年同期比で綾部安国寺ICを利用

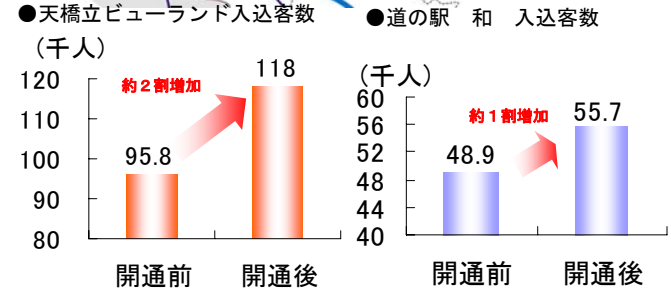
京丹波町周辺の道の駅「和」の売り上げが、昨秋から大幅に伸びて、約15%増の約1億1千四百七十万円となった。昨年九月に道の駅近くまで開通した京都縦貫自動車道の効果とみられ、関係者は活況を喜び、ターゲットに予定される全開通が実現すれば、一転して素

京丹波町周辺の道の駅「和」の売り上げが、昨秋から大幅に伸びて、約15%増の約1億1千四百七十万円となった。昨年九月に道の駅近くまで開通した京都縦貫自動車道の効果とみられ、関係者は活況を喜び、ターゲットに予定される全開通が実現すれば、一転して素

京都新聞 平成21年1月23日掲載記事



開通により約15分短縮



出典：京都府道路公社調べ
開通前：平成19年10月・11月の2ヶ月間
開通後：平成20年10月・11月の2ヶ月間